

(別紙 5)

整理番号 2019P-017
補助事業名 2019年度自転車競技の普及促進及び競技力向上に資する事業補助事業
補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本体大会の開催により国内自転車競技の普及促進、認知拡大及び開催地域の活性化を図る。

また大会レベル（レースクラス2.1）及び規模（8日間8ステージ）の維持、運営体制の進歩やさらなる人気の向上を図ることにより、国内におけるスポーツ文化の発展、自転車活用推進法に基づいた国民の健全な心身の発達及び自転車市民権の確立（=自転車文化の創出）を目的とする。

(2) 実施内容

ツアー・オブ・ジャパン開催 (<http://www.toj.co.jp/2019/>)

国内で唯一の都府県（大阪府堺～東京間）をまたぐステージレースである、国際自転車競技連合（UCI）公認の自転車ロードレース「2019ツアー・オブ・ジャパン」を開催した。本大会は国内唯一の8日間8ステージでの開催であり、コースについては全て公道を使用した設定で行った。今大会では、堺ステージで岡篤志選手（宇都宮ブリッツェン）、東京ステージで窪木一茂選手（チーム ブリヂストーン サイクリング）がステージ優勝した。また総合優勝は国内チームのチーム右京が獲得した。



堺ステージの個人タイムトライアルで勝利を挙げた岡篤志選手（宇都宮ブリッツェン）。若手選手の好走に会場の観客からたくさんの声援があった。



競輪及び競輪補助事業についてのPRを行った。

2 予想される事業実施効果

国内のステージレースでは最大の8日間8ステージで開催される本大会は、東京五輪終

(別紙 5)

了後も世界で活躍できる選手の育成・経験のためにも世界の強豪選手と実際に同じ土俵でレースをすることで、競技レベル向上に繋がる重要な大会である。また、本大会で好成績を収めた選手が海外レースで飛躍するケースも多く、世界で活躍を目指す選手たちの登竜門的な大会となっており、国内選手においては、まず本大会出場を目標に定められるレースである。本大会で日本人選手が活躍することで、多くのメディアに取り上げられることは、自転車ロードレースのみならず、自転車業界全体の発展に寄与する。

また、本大会は全ステージ公道を利用して実施することで、平成29年5月1日に施行された「自転車活用推進法」に基づいた、自転車も車道を走る仲間であり「軽車両」という事を広く一般に再認識させる機会とし、自転車の健全利用を促し、交通安全ルールとマナーの啓発を通じて事故減少に繋げ、自転車文化の創出及び自転車競技の発展を図ることが期待できる。

3 補助事業に係わる成果物

- (1) 補助事業により作成したもの
・T0J オフィシャルマニュアル



- (2) (1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：一般財団法人 日本自転車普及協会(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)
住所：141-0021

東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル

代表者：会長 石黒 克巳(イシグロ カツミ)

担当部署：事務局 (ジムキョク)

担当者名：事務局長 大島 武巳(オオシマ タケミ)

電話番号：03-4334-7952

(別紙 5)

F A X : 03-4334-7957

E-mail : jifukyo@jifu.jp

U R L : <http://www.bpaj.or.jp>